

## 目 次

塩害と気象	塩害対策専門委員会気象小委員会
気象小委員会組織	( 1 )
巻 頭 言	( 2 )
緒 言	( 4 )
第1章 海塩粒子の発生と附着	( 5 )
1-1 エエロゾル	( 5 )
1-2 海塩粒子の発生機構	( 7 )
1-3 海塩微粒子の観測法	( 10 )
1-4 海塩粒子の分布	( 13 )
1-5 安定海水泡沫	( 22 )
1-6 海塩粒子の捕集	( 26 )
第2章 塩害の発生と気象	( 29 )
2-1 塩害発生時の気象状況	( 29 )
2-1-1 台風に起因する塩害発生と気象状況	( 29 )
2-1-2 季節風に起因した塩害(高圧配電線)の発生と気象の状況	( 47 )
2-2 塩害が発生するための気象条件	( 53 )
2-2-1 塩害の発生過程による分類	( 53 )
2-2-2 類型別の気象条件	( 53 )
2-3 気象要素による塩害発生地域の推定	( 53 )
2-3-1 附着塩分指数	( 53 )
2-3-2 附着塩分指数および雨量と塩害の地理的分布の比較	( 53 )
第3章 塩害に関する気象	( 58 )
3-1 塩害に関する気象要素の解説	( 58 )
3-1-1 風	( 58 )
3-1-2 湿 度	( 60 )
3-2 塩害に関する気象現象の解説	( 61 )
3-2-1 台 風	( 61 )
3-2-2 季 節 風	( 65 )
3-2-3 前線と低気圧	( 66 )
3-2-4 霧・露・スモッグ	( 70 )
3-3 塩害危険地域分布図を作成する場合の参考資料	( 71 )
3-3-1 地形と風	( 71 )
3-3-2 任意地点の風速の推定	( 73 )
3-3-3 任意地点における任意量の降水出現時数の推定法	( 92 )
気象小委員会提出資料一覧表	( 96 )
電気協同研究会の動き	( 98 )